

コラム 森林の多面的な機能

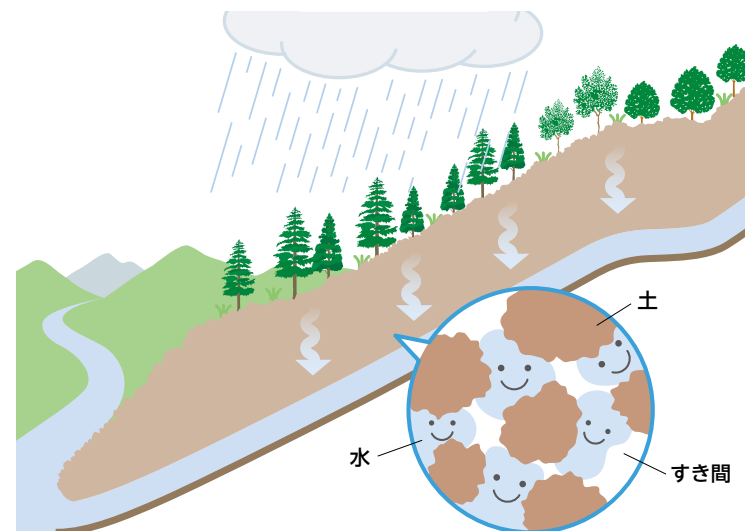
i. 水源かん養機能

健康な森では、落ち葉などを分解する微生物等の土壌生物の活動により、スポンジのように小さなすき間がたくさん空いた、保水力の高い土壌が作られています。

森に降った雨は、このふかふかの土壌を通して地中深くにしみ込み、蓄えられ、地下水となってゆっくり川へと流れ出ていきます。

森はこのような働きによって、川に流れる水の量を調整して洪水や渇水を緩和するため、「緑のダム」とも呼ばれています。

また、雨が地中にゆっくりと浸透する間に、空気中で付着したちりなどの汚れが取り除かれて、きれいな水になります。



ii. 土砂流出防止・土壌保全機能

健康な森では、木の枝葉や草、落ち葉などがクッションの役割を果たし、雨が直接地面を打ちつける衝撃から土を守っています。

また、ふかふかの土壌は雨水を素早く浸透させるため、土が雨水とともに流されることを防いでいます。

さらに、樹木の根が地面をしっかりと押さえるため、土砂災害が起きにくくなります。



iii. そのほかの機能

水源林には、「水源かん養機能」や「土砂災害防止・土壌保全機能」といった代表的な機能のほか、様々な生物のすみかとなる「生物多様性保全機能」、二酸化炭素吸収・酸素生産といった「地球環境保全機能」等自然界において重要な機能があります。

そのほかにも、「快適環境形成機能」、「保健・レクリエーション機能」や「文化機能」等の様々な機能もあります。

【簡易解説】

・生物多様性保全機能

希少種を含む多様な生物の生育・生息の場を提供する機能

・地球環境保全機能

樹木が大気中の二酸化炭素を吸収し、立木や木材として固定するとともに、バイオマス燃料として化石燃料を代替することなどにより地球温暖化防止に貢献する機能

・快適環境形成機能

気温や湿度等を適度なものとするほか、強風やこれに伴う飛砂及び塩分、騒音、塵埃^{じんあい}などから、農地、道路、鉄道、住環境等を守る機能

・保健・レクリエーション機能

安らぎや癒し、行楽、スポーツの場を提供する機能

・文化機能

文化的価値のある景観や歴史的風致を構成し、文化財等に必要な用材等を提供する機能

(出展 林野庁 林業白書)



コラム 水源林の動植物

水源林には私たちの生活に欠かせない水を育む以外にも、動植物を育てる役割があります。

自然豊かな水源林では、多種多様な動植物と出会うことができます。国の天然記念物のニホンカモシカをはじめ、希少な動植物が生息していて、複雑な生態系は「生物多様性」※に大きく寄与しています。

しかし、この豊かな生態系は、最初から存在していたわけではありません。かつて荒廃していた森林は、人の手による再生を経て、動物たちの住みかやエサを供給する場となりました。また、動物たちは木の実を食べたり、体にくっつけたりして種を運ぶことで、様々な場所で植物を芽吹かせ、森林の発展を助ける——そんな相互関係が築かれ、現在の姿へとつながっているのです。

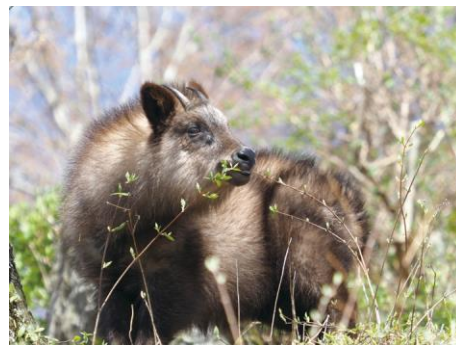
多種多様な動植物



ヒガラ



アズマシャクナゲ



ニホンカモシカ



カタクリ

※生物多様性

生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。地球上では40億年という長い歴史の中で、様々な環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらの生命は一つ一つに個性があり、全て直接もしくは間接的に支えあって生きています。生物多様性条約では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という3つのレベルで多様性があるとしています。生物多様性が維持されることで私たちが生きるのに欠かせない酸素の供給や農作物といった食料の供給が自然から行われています。(出展 環境省)

コラム 水源地ふれあいのみち

水源林をより多くの方々に親しんでいただくため、水道局では「水源地ふれあいのみち」という散策路を3コース整備しています。普段の生活では触れる機会の少ない水源林の豊かな自然を肌で感じてみませんか？

水源地ふれあいのみち
水干ゾーン（山梨県甲州市）
多摩川の始まりを訪れる
「源流のみち」



本格的な登山が楽しめる登山エリアで、多摩川の最初の一滴である「水干」や荒川、富士川、多摩川の分水嶺も見るができます。

詳細なコースはHPをご覧ください

水道水源林ポータルサイト「みずふる」

『水源林に行ってみよう～水源地ふれあいのみちのご紹介～』

URL : <https://www.mizufuru.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/fureaino-michi/>



水源地ふれあいのみち
小河内ゾーン（東京都奥多摩町）
奥多摩湖を眺望する
「見はらしの丘」



小河内貯水池（通称「奥多摩湖」）に隣接するエリアで、都心から電車とバスで来ることができるアクセス良好なハイキングコースです。

水源地ふれあいのみち
柳沢峠ゾーン（山梨県甲州市）
ブナなどの天然林を歩く「ブナのみち」

ブナやミズナラなど多種多様な植物を身近に観察することができるエリアで、樹種名がわかるよう、それぞれの木々にネームプレートがあり、気になった木の名前を調べながら散策することができます。



コラム 多摩川水源森林隊に参加してみよう

森林隊ってどんな活動をするの？

「森林保全活動に参加してみたい」「自然の中での体験に興味がある」と思っている、いざ参加するのはちょっと不安に思うことはありませんか？ここでは「間伐作業」を例に、「森林隊の1日の活動の様子」をご紹介します。

🕒 9:15 事務所集合
(JR奥多摩駅から徒歩10分程度です)



🕒 9:30 朝礼
(注意事項を確認し、準備体操を行います)



車で移動します

🕒 午前の作業開始
(指導員のサポートを受けながら、木を切り倒します！)



🕒 15:30 解散 一日お疲れ様でした



車で戻ります

🕒 13:00 午後の作業開始



🕒 12:00 おひるご飯
(森の中で食べるお弁当は格別です！)



森林隊では、ここでご紹介したような間伐や枝打といった作業難易度の高い森林保全活動を主に実施してきましたが、令和8年度からは初心者の方や親子層でも無理なく参加できるものなど、様々な活動を行っています。ぜひ一度、足を運んでみてください。

より詳細な情報を知りたい方は、水道水源林ポータルサイト「みずふる」をご覧ください。

みずふる 森林隊 検索


















<https://www.mizufuru.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/create/forest-team/>

コラム 水源地カレンダー

水源地では1年を通して四季折々で様々なイベントがあります。

今回のコラム作成にあたって、令和7年度時点での各種イベントをまとめてみました。特に、春から秋にかけて様々なイベントが開かれ、多くの人々が水源地を訪れます。

是非、ご参考にしてみてください。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
季節												
	冬		春		夏			秋				
	高標高地では3月頃まで積雪		花見は4月上旬～5月上旬		登山最盛期			紅葉の見頃10月下旬～11月下旬				
	★藤やツツジの見頃 5～6月頃		★ヤマユリなど高山植物の見頃 6～7月頃									
	 空気が澄み山々の姿が映える時期 12～2月頃		 サクラ見頃(奥多摩湖) 4月上旬～中旬		 奥多摩湖の湖面が非常にきれいな時期 6月頃			 紅葉見頃(上流部) 10月下旬～11月上旬			 紅葉見頃(下流部) 11月中下旬	
東京都水道局主催イベント								 夏の水源林ツアー	 多摩川水系上下流交流会	 秋の水源林ツアー		
関係機関イベント	 青梅マラソン		 小菅村多摩源流祭り							 奥多摩町奥多摩ふれあいまつり		